

第 99 号

2021 年 12 月
発刊

堀川病院 地域医療連携室だより

白内障治療について 眼科の御紹介

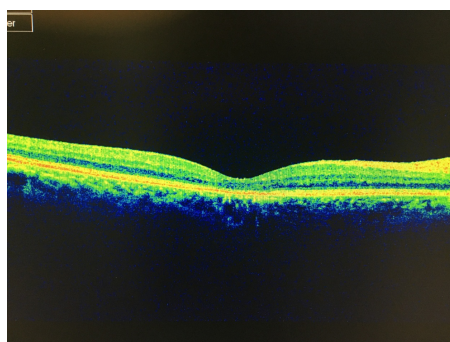
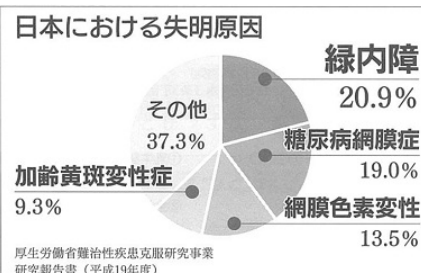
2021 年も残り僅かとなりました。

今年も、地域の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございます。

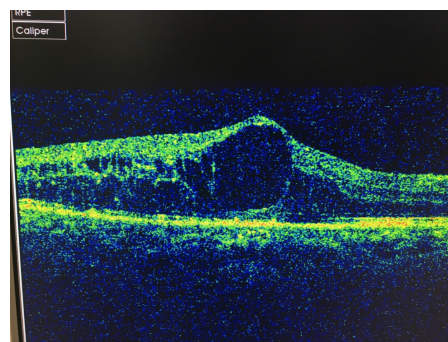
人間の情報の 80%は目から入ると言われています。視機能障害は生活の質 (QOL) の低下に直結します。クリニックほりかわ眼科では、地域の皆様がより健康的で質の高い生活を長く送ることを目指して日々診療を行っております。

現在、我が国の中高年の失明原因第 1 位は緑内障・第 2 位は糖尿病網膜症です。これら 2 疾患は早期発見 早期治療で進行を遅らせて失明を防ぐことができます。

緑内障・糖尿病網膜症共に、症状がないまま静かに進行するのが特徴です。症状を自覚した時には末期であることが多い怖い疾患です。よって、早期の発見と治療の継続がとても大切です。緑内障は 40 歳以上の 20 人に 1 人、糖尿病網膜症は糖尿病患者さんのおよそ 3 分の 1(約 300 万人)が罹患していると言われております。当科では一般的な眼底検査に加え視野検査や光干渉断層計 (OCT) 等の検査を用い早期発見、早期治療を心掛けています。加齢黄斑変性症を代表とする黄斑疾患も OCT を用いることで早期発見が可能です。



正常黄斑部 OCT 画像



黄斑浮腫 (糖尿病網膜症)

糖尿病や高血圧網膜症をはじめとする全身疾患と関連する眼疾患はかかりつけ医の先生方や当院他科の先生方と連携をとり定期的に眼底検査を行っております。眼所見から全身疾患が見つかることもあります。

そして、年齢を重ねると必ず出現するのが白内障です。目の中のレンズ部分が濁ってくる病気で、80歳代では90～100%が白内障に罹患していると言われています。徐々に霞や・まぶしさ・ダブって見える等の症状が進みQOLの低下をきたします。

白内障の治療は現在のところ手術しかありません。しかし手術技術は年々進歩をし、比較的low侵襲な手術でクリアな視界を得ることが出来るようになっていきました。

白内障手術は基本的に局所麻酔で行われます。3mm程度の切開幅から超音波で濁った水晶体を砕きながら吸い出し、眼内レンズを折り曲げながら挿入します。当院では毎週火曜日午後に白内障手術を行っています。ご家庭の状況等患者様のご希望で、日帰りもしくは入院のご相談を承っております。

眼科手術が決定した方は、外来で健康チェックの必要性をご説明し入院まで健康自己チェックをしていただきます。入院当日には健康チェック表の内容確認と等温核酸増幅NEAR法検査を行って陰性確認し個室での対応とさせていただきます。

入院期間中は白内障手術の入院経過表に準じて手術前後の点眼管理、症状の観察等を行います。

ほとんどの患者様は短期滞在入院ですが、術前・術後の点眼が困難な患者様の場合は入院期間を検討させていただいておりますので眼科外来にご相談ください。



白内障手術後（眼内レンズ挿入眼）



また、近年注目されているのが【ロービジョンケア】です。ロービジョンケアとは視覚に障害があるために生活に何らかの支障をきたしている人に対する支援の総称です。医学的なケアから教育的、社会的、福祉的、心理的ケアまで広い範囲にわたる支援を意味しています。

当科でも医学的治療に加え、必要に応じ当院相談室やロービジョンケアの紹介をしています。

当院は、難治症例のコンサルトをさせて頂いている『京都府立医科大学附属病院』、ロービジョンケアをお願いしている『京都ライトハウス』ともに近く、眼科診療・眼科ケアに恵まれた環境に位置しています。眼科のスタッフは皆明るく穏やかなメンバーで、チームワークも抜群です。これらの特徴を生かし地域の皆様の目の健康寿命を延ばし、患者様のQOLが向上することを目標に日々診療しています。



最後に今年9月、日本眼科医会から発表された【アイフレイル啓発】を紹介させていただきます。アイフレイル（加齢によって目の脆弱性が増加すること、様々な外的・内的要因が加わることによって視機能が低下した状態。）啓発の目標は

1. 視覚障害により日常生活が制限される人を減らすこと
2. 自立機能の低下により、要介護状態に至る人を減らすこと
3. 読書、運転、スポーツ、趣味など人生の楽しみや、快適な日常生活が制限される人を減らすこと

が掲げられています。

眼疾患の早期発見の為に、アイフレイルチェックシートで2つ以上当てはまる方は是非一度眼科受診をご検討ください。

来年も引き続きクリニックほりかわの眼科をどうぞよろしく願いいたします。

眼科医師 稗田 朋子

眼科診療体制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前		大槻 陽平 (白内障手術相談)	稗田 朋子			大内 聖奈 (眼鏡処方・予約制)
午後		白内障手術				

編集後記

今年も気が付けば12月となり、コロナ禍で毎日を過ごした1年があっという間でした。

振り返ると今年にはコロナ禍で東京オリンピックが開催され、そこで活躍する選手の姿に勇気もらい、元気もらいました。一方で新型コロナウイルス感染症は拡大し、変異株の感染力の強さに気を緩めることはできませんでした。さらにオミクロン株という新しい変異株が現れ、この先の不安は続きます。今年も最後までコロナウイルスに翻弄される1年になりそうです。

よく目にすることではありますがコロナ禍の「禍(わざわい)」は、人々の努力や工夫によって防ぐことができた事象や被害、人災や災害に対しての備えが足りなかったから起こった被害を指します。この言葉を改めて肝に銘じつつストレスを溜めないように、暮らし方を考え、幸せに転じることができるように行動していきたいと思えます。

地域医療連携室 久須窪充仁

年末年始の外来診療休診期間のご案内

令和3年12月30日(木)～令和4年1月3日(月)

堀川病院救急外来の診療は行っております。

社会医療法人 西陣健康会 堀川病院 地域医療連携室

お問い合わせ TEL : 075-417-3760

FAX : 075-417-3766

Eメール : hori-ren@mbox.kyoto-inet.or.jp